

研究課題名	手指屈筋腱断裂の早期運動療法の成績不良因子の検討 と当院の早期自動屈曲療法の詳細について
実施責任者	所属・職名：名古屋掖済会病院・手外科マイクロサージ ャリーセンター
	氏名：稲垣慶之
研究の概要	手指屈筋腱断裂では良好な可動域制限を獲得することに難渋します。当院では術後早期からリハビリを行う方法を取っていますが、詳細なリハビリ方法の選択についてはセラピストの経験による部分が大きく、客観的な指標はありません。そこで、良好な可動域を獲得するために、可動域制限残存例における客観的な不良要因を検討します。
対象となる個人情報	手指の可動域，年齢，損傷指，術後リハビリの方法， 動脈・神経損傷
実施の期間	西暦 2008年 1月 1日から
	西暦 2021年 12月 31日まで
研究対象	当院にて手指屈筋腱断裂と診断され，当院にて手術・ リハビリを行った方を対象とします。